



コンパス住吉台

Tel:中学校 090-9148-1396 Tel:小学校 070-1287-8026

住吉台中学校区
学校支援地域本部だより
2021年度版
NO.5
令和3年12月15日発行



小中連携の取組



★ 中学校美術部作品展 ★

11月24日～30日まで、中学校美術部の作品11点を小学校のオープンスペースに展示しました。これは小中連携の取組として平成29年度から始まり、今回で5回目となります。

身近な先輩である中学生の優れた作品を目にすることで、小学生の子どもたちは、憧れの気持ちを持ったようです。特に6年生は、来春からの中学校生活への期待が膨らんだことでしょう。中学校美術部の皆さま、ありがとうございました。



小学校



★ 5年生 脱穀 ★

10月26日、5年生は足踏み式脱穀機で脱穀体験をしました。お米一粒の大切さを感じる脱穀の作業です。萱場地区の奥山壽さん、照夫さんのご指導のもと、足踏み板を踏みながら、稲穂を扱胴（こきどう）に当てて、回しながら脱穀します。今ではこの機械自体が貴重品です。5年生は脱穀して飛び散ったお米を集め、ふるいでワラを取り除きました。脱穀したモミの重さは9.85キロ。萱場地区の鈴木孝之さんに精米していただき6.65キロのもち米となりました。このもち米は5年生から6年生に卒業記念にプレゼントされます。



★ 3年生 オオムラサキの授業 ★

10月19日、3年生は以前住吉台小学校に在籍された菅原泰徳先生をお招きして、住吉台でオオムラサキを育て始め、オオムラサキ会を立ち上げた佐藤忠壽さんについて教えていただきました。昭和47年、当時の丸光デパートでオオムラサキの標本を見て、佐藤さんはその美しさに魅せられ、将来オオムラサキを育ててみたいと思われたそうです。また、住吉台小学校の校章もデザインされた方であることもお聞きしました。冬の間、雪の下でじっと春を待つオオムラサキの幼虫のように、我慢のできる子になってほしいという願い、夏には美しい蝶になって人々の目を楽しませるように、優しい温かみのある子に育ててほしいと願われていたことも学びました。

11月2日、オオムラサキ会のご指導のもと、幼虫の越冬のために3年生はエノキの根本に落ち葉をいれました。葉の色に合わせて幼虫の色が変化している様子も観察しました。これから半年、幼虫は落ち葉の中で春を待ちます。



★ 3年生 住吉神社訪問 ★



11月11日、3年生は団地の名前の由来にもなった「住吉神社」を訪問し、西田中連合町内会の会長をされている早坂廣輝さんから多くのことを学びました。昔は、住吉台は根白石、萱場地区と一緒に「田中村」と呼ばれていたこと、明治42年に神社合祀政策の下、一つの村にある複数の神社をひとつにまとめたため、住吉神社にはたくさんの神様が祀られていること、以前は住吉台にあったお参りの石が、団地造成時に住吉神社に移されたことなどです。他にも、鳥居にかかっているしめ縄、手水、こま犬、馬頭観音、山神様など神社に祀られているものの理由なども学びました。大人も知らない住吉台の歴史を3年生は学びました。

★ 6年生 記録証浄書 ★

今年度もコロナ禍のため、6年生の陸上記録会は実施されませんでした。例年は陸上記録会の賞状を6年生に渡しますが、今年は100メートル走の各自の記録を地域の照井博子さんに浄書していただきました。照井さんはホテルなどでの筆耕経験を生かして、毎年記録会の賞状などを浄書してくださいます。今年も浄書をありがとうございました。

